

製品名: FOXP3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03820**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXP3
別名	FOXP3; IPEX; JM2; Forkhead box protein P3; Scurfin
遺伝子 ID	50943
SwissProt ID	Q9BZS1
免疫原	抗血清はヒト FOXP3 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

背景

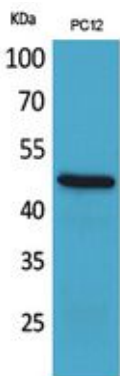
FOXP3 遺伝子の欠損は、免疫不全性多内分泌症、腸症、X連鎖症候群 (IPEX) [MIM:304790]の原因であり、X連鎖自己免疫不全

症候群としても知られています。IPEXは、新生児期発症のインスリン依存性糖尿病、感染症、分泌性下痢、血小板減少症、貧血、湿疹を特徴とします。乳児期には通常、致死的です。

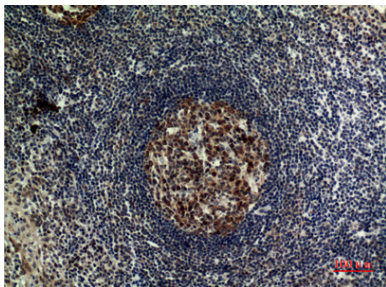
研究分野

細胞生物学

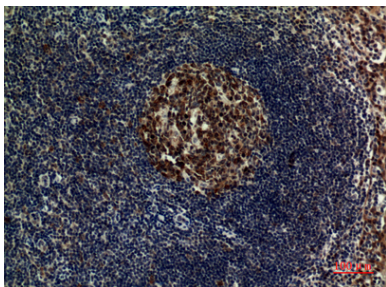
画像データ



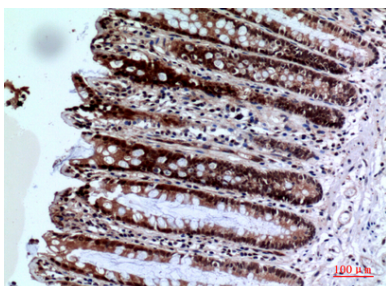
FXP3 抗体を使用した PC-12 溶解物中の FXP3 のウェスタン ブロット分析。



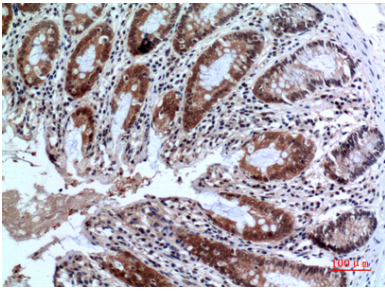
FXP3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



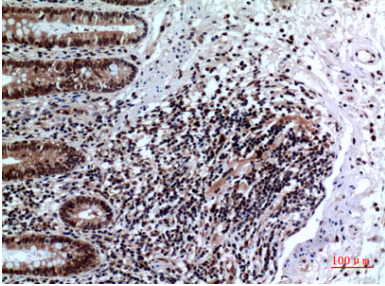
FXP3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト膀胱癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA を用いた。



FXP3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FOXP3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FOXP3 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。